

各専門部会の開催状況

部会名 (開催日)	構成員等
健康増進部会 (H26. 1. 21)	津下一代部会長 始め 16 名 学識経験者、県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、県栄養士会、健康づくりリーダー連絡協議会、食生活改善推進員連絡協議会、県国民健康保険団体連合会、愛知労働局、健康保険組合連合会愛知連合会、全国健康保険協会愛知支部、各市町村保健師協議会、県保健所長会 (順不同)
がん対策部会 (H26. 1. 31)	木下平部会長 始め 18 名 学識経験者、専門医、県医師会、愛知県経営者協会、NPO 法人あいち骨髄バンクを支援する会、NPO 法人ミーネット、市町村、県保健所長会 (順不同)
歯科口腔保健対策部会 (H26. 1. 23)	野口俊英部会長 始め 10 名 学識経験者、県歯科医師会、県歯科衛生士会、県歯科技工士会、県看護協会、県心身障害者コロニー中央病院、市町村歯科衛生士代表、小・中学校養護教諭代表、県保健所長会 (順不同)

健康増進部会	
開催日	平成 26 年 1 月 21 日 (火)
議 題	議題 (1) 「健康日本 2 1 あいち新計画」について (2) 今後の健康増進施策の推進と関係機関の連携について
検討 状況等	<p>議題</p> <p>(1) 「健康日本 2 1 あいち新計画」について</p> <p>①計画の概要と今年度の主な取組について事務局から報告を行った。</p> <p>②事例紹介：蒲郡市における全庁的な健康づくり政策の取組を紹介した。</p> <p>③平成 25 年度の目標項目の進捗状況について事務局から報告し、平成 26 年度へ向けた取組の方向性に関する協議を行った。</p> <p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● これまで健康づくりに関心のなかった方や、情報が十分届かなかった方へ必要な情報を届ける仕掛けが必要。「社会で支える健康づくり」という基本方針のもとに、効果的な普及啓発の手法の検討を進めていくことが必要である。 ● 健康課題をデータで「見える化」し、悪いデータを施策化に活用することが有効である。特に、蒲郡市の取組は高く評価できる。 ● 進捗状況については「特定健診・特定保健指導の実施率」が伸び悩んでいる、目標達成に向けて受診勧奨方法の更なる工夫が必要である。 ● 歯科口腔保健分野では、「定期的な歯科検診」について市町村と連携して推進することが必要である。 ● たばこ対策は、習慣化する前の段階の大学生など若い世代に啓発すると効果的である。 ● 栄養・食生活分野で特に「野菜摂取量」が悪化している。(H24 年度国民健康・栄養調査で全国ワースト 1 位) 学校教育、食育推進など関係機関と連携して普及啓発を強化する必要がある。 <p>(2) 今後の健康増進施策の推進と関係機関の連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各団体の取組の紹介と役割の理解と共有を行った。 <p>※その他で、津下部会長から国の動向「健康・医療戦略の推進体制」について情報提供があった。</p>

がん対策部会	
開催日	平成 26 年 1 月 31 日 (金)
議題等	<p>1 議題 愛知県がん対策推進計画（第 2 期）の推進と今後のがん対策について</p> <p>2 報告 (1) 市町村がん検診の精度管理について (2) がん登録について (3) その他</p>
検討状況等	<p>議題 愛知県がん対策推進計画（第 2 期）の推進と今後のがん対策について 平成 25 年 3 月策定の第 2 期計画の全目標項目の進行管理表案を作成し、平成 25 年度の取組実績と 26 年度へ向けた取組の方向性の案を提示し、進捗状況評価と取組の方向性に関する協議を行った。</p> <p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市町村が住民のがん検診を個別勧奨等により平均水準より積極的に行っていく場合の障害として、職域等でがん検診を受診した方の受診情報が把握できないことがある。 ● 在宅でのがんの治療・療養体制を整えていくためには、専門医療機関と在宅医療を担っているところとの一層の連携が必要であり、行政の積極的な取組を検討していただきたい。 ● 今年度開始された「がん患者・家族相談支援事業」は、病院以外の場所でピアサポートを行うという点で患者さんにとって良い取組である。 ● 「がん患者・家族相談支援事業」は月 1 回と回数が少ないので、利用者に不便であり、このことが普及の制約となっているのではないか。もっと回数を増やすべきでないか。 ● がんセンター中央病院で、今年度から社会保険労務士による就労相談が行われているが、今後、他の拠点病院にもこういった取組が広がっていくことが望ましい。 ● 従業員ががんに罹った場合の就労継続のための企業等による支援は、おそらく企業規模によって違いがあると見込まれ、企業アンケートの結果を踏まえて、おそらく制度面の充実や柔軟な対応が必要であろう中小企業に対する働きかけについて検討していく必要がある。

歯科口腔保健対策部会	
開催日	平成 26 年 1 月 23 日 (木)
議題	<p>議題 愛知県歯科口腔保健基本計画及び健康日本 21 あいち新計画（歯科）の推進について</p> <p>① 愛知県歯科口腔保健基本計画の概要 ② 愛知県歯科口腔保健基本計画・健康日本 21 あいち新計画の指標及び進捗状況 ③平成 25 年度の主な歯科口腔保健推進事業について ④平成 25 年度新規事業について</p>
検討状況等	<p>議題 愛知県歯科口腔保健基本計画及び健康日本 21 あいち新計画（歯科）の推進について</p> <p>○「愛知県歯科保健基本計画」の趣旨を始め、歯科疾患の予防など推進のための基本的な方針、目標、指標設定の考え方、進捗状況について事務局から説明を行うとともに、今後計画の進行管理を行うためのデータ把握について、各関係機関に協力を求めた。 また、平成 25 年度歯科口腔保健事業及び今年度実施する新規 2 事業について事務局から説明を行い、今後の取組に対する意見聴取を行った。</p> <p>○歯科保健を総合的に推進していくために、関係機関が役割を認識し、連携していくことが重要であると共通理解が得られた。</p> <p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●むし歯のない児童が多くなってきたが、むし歯のある児の背景には様々な健康課題を抱えており、個別指導が重要になっている。学童の歯肉炎対策は、生活習慣を整えていくことが大事である。 ●3 歳児の不正咬合等については、今後具体的な対策への検討が必要である。 ●今年度障害者に対する調査を実施するということであるが、重症心身障害児に対しても今後把握することを検討してほしい。 ●口腔機能に関しては、在宅での摂食・嚥下訓練等地域に根差した取組が必要である。

